



元F3ドライバー・金久憲司さん、高村一明さんコンビがAグループにKP61N2仕様で参加。小林昌雄部長も遊びに来た。

譲ろうとしないヤツ。これとは逆に、速いクルマに乗っているからってところかまわずインに飛び込んできたり、抜いた直後にラインを重ねたりするヤツ。こういうヤツが耐久レースでは、いちばん迷惑で危険なんだけど、オレが走っているときに（Bグループで3時間のうち2時間近くを走った）は、ぜんぜん出会わなかった。

同じような速さのクルマとのバトルが何回もあったけど、コーナーの勝負では、イン側にいるオレのためにクルマが台分開けてくれるし、サイドバイサイドのブレーキ競争で必要以上によってきたりもしない。おかげで気持ち良くバトルができた。

ま、たまには後ろを見ていないで急に進路変更するひともいるけど、これは前を走っているドライバーがミラーを見ながら走っているかどうかを見てればわかるもんな。

今回はレースのスケジュール進行もバッチリうまくいった。昨年のOPT2耐久では、タイムスケジュールが押せ押せになっちゃって2時間を1時間に、4時間を3時間に短縮するという結果になってしまったに参加し

たみんなに迷惑をかけたんだけど、今回は台風の接近で、午後からの天候が読めないから、最悪のことを考えて午前中の練習走行をとりやめにして、レース時間を繰り上げて開催された。レース終了後のみんなの満足そうな顔を見るかぎり、この判断は大正解だったようだ。心配とは裏腹に午後からは雨が上がったんだけど、予定通りにA組、B組とも3時間の耐久レースを無事に終了してなによりでした。

最初は高村一明さんから。クルマに乗る前はニコニコしてたんだけど、このレースで、



最後はみんなでジャンケン大会。これも最近のサンデーレースシーンでは定番になっている。盛り上がるんだよね。

1時間半走って金久憲司さんに交代。久さんもすでに目ガイッてる。走るの仕事のひとたちってどんなクルマに乗るときも同じ目をしてんだよね。

最初は高村一明さんから。クルマに乗る前はニコニコしてたんだけど、このレースで、



さあ鉄人たちよ、プロは何に乗っても速いということを見せつけてやるがいい！と思ったんだけどKPはご機嫌ななめ。



今回、クルマを買ってこれたRCクマガエの走るチューナー・乗客さん！許容回転などを聞く、だつて見るのも初めてのクルマだもんね。壊さないでくださいよ！



元F3ドライバー

ところが、金久さんが乗ったKPは本格的にスネている。エンジンが振らないから押し掛けスタート。ホントのレースだとペナルティもんだけど、サンデーレースだからOK！



耐久チャレンジに殴り込み！ F3だろうがKP61だろうが ステアリング握ればホンキっす。



雨の中を走る元F3ドライバーのKP61N2。タイヤがストリートラジアルでなければあと3秒から4秒は余裕なんだけどなあ。

今回、諸国漫遊のお供をしてくれたのは、元F3ドライバーの高村一明&金久憲司だ。彼らの任務は、プロは何に乗っても速い！というところをサンデーレーサーに見せてあげること。で、用意されたクルマは、KP61N2仕様だ。

「ご機嫌ななめのKP61」ところが、長い間、ガレージに放置されていたKP61は、どうやらご機嫌が悪いらしい。アイドリングがバラつくのはハイカムだから仕方ないけど、回転をあげてもバツバツバツてかんじで吹けが悪い。しかも、大雨の中を走るのにレーシングレインタイヤの手配に間に合わ

今回、諸国漫遊のお供をしてくれたのは、元F3ドライバーの高村一明&金久憲司だ。彼らの任務は、プロは何に乗っても速い！というところをサンデーレーサーに見せてあげること。で、用意されたクルマは、KP61N2仕様だ。



車高提供からレース中のサービスまでお世話になった福岡県浮羽郡のRCクマガエ一司さま。中央が部長の野谷さん。

RCクマガエのオーナーの野谷文彦さんは、お客さんのメンテナンスだけでなく、自分でも走らないと気が済まないサンデーレーサー大好き人間。今回も、Aグループに出走した高村&金久コンビのメンテナンスをしたあとBグループでは自ら真っ赤なハチロクのステアリングを握っていた。

さあ、鉄人たちよ、思いっきり速さを見せつけるがいい！

ず、ビレリのストリートタイヤを履いているし。んむむむ……さあ、鉄人たちよ、やれるところまでいいから、頑張ってみるがいい！でも、Aグループでふたりと一緒に走ったひとたちは間近で見ることができたと思うんだけど、パワーの出たないエンジン、グリップしないタイヤをめいっぱい使つてうまく走つてたでしょ。あれがやっぱりプロの走りなんだよな、チューニングに頼るのもいいんだけど、チューニングやクルマの持っている実力の100%を引き出す走りつてのは、やっぱり練習しかないんだろうな。